

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 2026年1月15日(木)
第5校時 13:30～14:20
対 象 第2学年A～E組 195名
会 場 3 階 各 教 室

1 単元名

校外学習 ―国際理解・国際交流を通じた探究的学習―

2 単元の目標

大使館訪問を通して、自分たちが設定したテーマに基づき国際理解・国際交流について探究し、情報を整理・分析・発信できる能力を育成する。

- ・校外学習の事前事後学習を通して、訪問国や対象地域の文化・歴史・社会構造に関する基礎的知識を整理し、フィールドワーク（観察・インタビュー・資料収集）の技能を身に付けるとともに、得た情報をポスター形式で分かりやすく整理できる。
- ・校外学習の事前事後学習を通して、自ら問いを設定し、収集した情報を分析・比較・分類して仮説を立て、結論を導けるとともに、大使館訪問を通して得た学びを、論理的に考えを伝えられる。
- ・校外学習の事前事後学習を通して、協働的に班活動に取り組み、互いのよさを生かすとともに、自分の成果や役割を振り返り、学ぶことの意義を自覚するとともに、自己肯定感・自尊感情を高め、次の学びへ主体的に取り組む意欲をもつ。また、自国と他国を比べ、広い視点を持ち、自己の在り方について積極的に考えられる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①訪問国や対象地域の基礎知識について調べ、理解している。 ②大使館訪問を通して、フィールドワークの基本的な方法を身に付け、必要な情報を適切に収集している。 ③校外学習やその事前学習を元に得た学びをポスター形式で分かりやすく整理している。	①大使館訪問に向けて、自分たちの設定したテーマに対して、探究課題や根拠に基づく仮説を立てている。 ②大使館訪問に向けて、自分たちの設定した探究課題に対して、有効な質問を考えている。 ③ポスターセッションに向けて、効果的なレイアウトを構成している。 ④大使館訪問を振り返り、その国の特徴に合うようなマスコットを作成している。 ⑤ポスターセッションを通して、探究の成果を効果的に伝える方法を考えている。	①大使館訪問に向けて、自身の興味・関心を基に、探究課題を選択している。 ②大使館との交流を通して、他国の文化などを学ぼうとしている。 ③大使館訪問について、課題の解決に向け、班のメンバーで協力して取り組んでいる。 ④ポスターセッションの発表練習から、自身の課題に気づき、より良い発表を作ろうとしている。 ⑤探究的な過程を通して、国際理解・国際交流について自身の学びと経験を振り返り、自己の在り方について積極的に考えようとしている。

4 単元指導計画（全 16 時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1 2 3 4 5	校外学習全体へ見通しをもち、自身が選択したテーマに対して、探究課題や根拠ある仮説を設定するとともに、訪問先の国について基礎知識を調べ、探究課題を達成する有効な質問を考える。	校外学習のガイダンスを行い、当日や事前・事後学習への見通しをもつとともに、八つあるテーマの中から自身の興味関心のあるものを選択する。 班編成を行い、班員の興味関心から学習全体の柱となる探究テーマを設定するとともに、自身が訪問する大使館や探究テーマとの関連を調べ仮説を立てる。 大使館で行う質疑応答に向けて、探究テーマを基に質問の内容を考える。	ウー①【観察】 アー① 【観察、ワークシート】 ウー②【観察】 イー① 【ワークシート】 イー② 【ワークシート】
6 7	校外学習やその事前学習を元に得た学びをポスター形式で分かりやすく整理する。	ポスターセッションに向けて、レイアウトや内容の構想を練る。	イー③ 【観察、ポスター】 アー③ 【観察、ポスター】
8	大使館訪問を通して、フィールドワークの基本的な方法を身に付け、必要な情報を適切に収集するとともに、課題の解決に向け、班のメンバーで協力して取り組む。	探究テーマを基に、大使館やその他の見学地へ訪問し、インタビューやフィールドワークを行う。	アー② 【観察、しおり】 ウー③ 【観察、しおり】
9	大使館訪問を振り返りながら、その国の特徴に合うようなマスコットを作成している。	A I を活用して訪問した大使館の国の特徴に合うような友好大使を作成する。	イー④【製作物】
10 11 12 13 14 本時	校外学習やその事前学習を元に得た学びをポスター形式で分かりやすく整理するとともに、ポスターセッションの発表練習から、自身の課題に気付き、より良い発表を作る。	事前に作成したレイアウト案に従って、ポスターの作成を行う。 ポスターセッション原稿の読み合わせやグループ内発表、グループ内発表の振り返りを行う。互いの発表を見合い、より良い発表へと修正をする。	アー③ 【観察、ポスター】 ウー④【観察】
15	ポスターセッションを通して、大使館訪問や探究的な学習全体の成果を効果的に伝える。	全体を 3 グループに分け、ポスターセッションにより自分たちの探究の成果を発表する。適宜質疑応答なども行う。	イー⑤ 【観察、ポスター】
16	探究的な過程を通して、国際理解・国際交流について自身の学びと経験を振り返り、自己の在り方について積極的に考える。	ポスターセッションの成果を振り返り、校外学習全体で得た学びについて振り返る。	ウー⑤ 【観察、ワークシート】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び・協働的な学び）

（１） 生徒の興味・関心に基づく探究課題の設定と班編成

班分けの際に、生徒の興味・関心についてアンケートを実施し、自身の興味・関心のある内容を探究課題の中心になるように設定した。また、アンケートの結果を利用し、同じことに興味・関心があるもの同士で班編成を行うことで、主体的に探究課題を設定し、一人一人が課題をもって学習に臨めるような環境設定をした。



（２） 大使館との交流を通じた協働的な学び

自分たちの視野を広げるために、大使館への訪問を学習活動に取り入れた。普段入ることのできない場へ行き、外国の人とコミュニケーションをとる中で他国の様子を学び、その良さを感ずるとともに、自国の良さに気付けるように指導していく。



（３） ICTを活用した共同編集における協働的な学び

事前学習における課題設定や大使館への質問づくり、事後学習での友好大使の作成やポスターの作製など、様々な場面でプラットフォームを共同編集可能な状態で行うことで、互いの意見を参考にするなど互いの進捗や考えなどが共有できるようにした。これにより、学びが深められるように指導していく。



（４） 自己の考えを再構築する場面の設定


発表を通して、学んだことを情報発信するだけでなく、発表へのフィードバックを基に、修正する。意見交換し、より良くしようと調整する場面を設定することで、学びが深められるように指導していく。

6 本時の指導（全 16 時間中の 13 時間目）

（１） 本時の目標

ポスターセッションの発表練習から、自身の課題に気付き、より良い発表を作る。

（２） 本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 7分	○本時の目標を確認する。 ○自分たちの班のポスターセッションの内容を確認する。	□発表原稿とポスターの内容が対応しているか確認させる。 □発表後にされる質問と回答例などを想定させる。
展開 38分	◎班ごとに発表を行う。発表後は聞いている班の発表についての質問とアドバイスをを行う。  ○自分たちの発表を振り返り、アドバイスを基に、変更、修正を行う。質問への返答を考える。	□各班同じ流れで発表・質問・アドバイスをを行う。 □発表を聞きながらワークシートに記入させ、その様子を分析させる。 □アドバイスをどのように反映させられるか、ワークシートを基に検討させる。 ◆ウー④【観察】
まとめ 5分	○発表練習全体を振り返り、次回のポスターセッションに向けて、ポスターと原稿の確認を行う。 ○本時の振り返りを行う。	□ワークシートを基に、作成した発表原稿を修正させる。